

# 1Dayセミナー / 集中講義 未来創薬・診断法開発プログラム

日時: 2017年12月16日(土) 9:00~15:00

場所: 東京大学 分子ライフイノベーション棟 1階 アカデミックホール

## 目的

- 1、基礎研究の成果に基づいて医薬品や診断法を開発するプロセスを俯瞰的に理解する。
- 2、米国スタンフォード大学の創薬プログラムであるSPARKのコンセプトを取り入れ「基礎研究の事業化」「知財獲得」にも焦点をあてる。

## プログラム(各講義50分)

- 1、「創薬研究開発のロードマップとこれからの展望」 ~深化するオープンイノベーション~  
講師: 瀬尾 亨(ファイザー ワールドワイドR&D External Science & Innovation ジャパンヘッド統括部長)
- 2、「医薬品の開発に必要な非臨床試験」 ~薬効薬理試験, 薬物動態試験, 毒性試験の基礎~  
講師: 小林 潔(ノバルティスファーマ(株) 開発本部 探索開発部 部長)
- 3、「臨床使用への準備」 ~トランスレーショナルリサーチ・臨床試験でPOCまで~  
講師: 辻井 敦(ユーシービージャパン(株) 開発本部 副本部長)
- 4、「創薬と知財」 ~創薬における知財の位置づけ、特許取得までの手続きについて~  
講師: 本田 圭子((株)東京大学TLO 取締役・弁理士)
- 5、「商業化アントレプレナーシップ」 ~会社設立やFunding、ビジネスモデル構築について~  
講師: 片田江 舞子 ((株)東京大学エッジキャピタル(UTEC) パートナー)



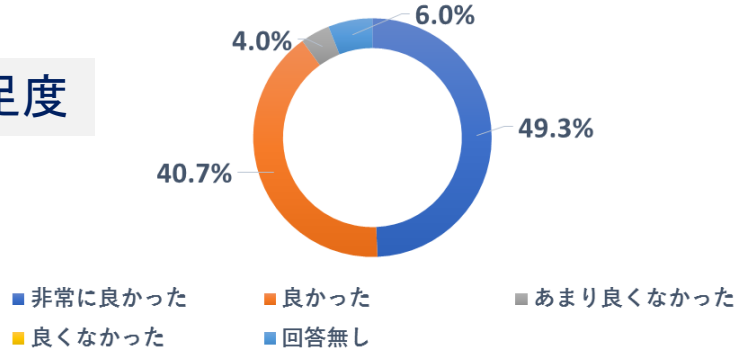
## 参加者

58名

内訳: 学部生・大学院生 27名 医師・教職員・一般 31名

## 受講者アンケート

### 講義の満足度



- 実用化面での知識がないのでとても興味深く面白くためになりました。(理学系 教職員)
- 創薬のOverviewが理解できて参加してよかった。(理学系 学生)
- 創薬における一連の流れと最近のベンチャー企業の興隆についてアップデートできたので有意義だった。ベンチャーキャピタルの仕組みについて正確について理解できた。GPLLIの学習実習で似た領域について扱ってきたので大分詳しくわかってきたと思う。(薬学系 学生)
- 弁理士の話がうかがう機会というのはなかなかないので、法律家の視点から見た科学技術の価値を知ることができ良かった。(医学系 学生)
- 学生がこういった内容を動画で見られるようにしていただけるとありがたいです。(医学系 学生)
- 大学研究と製薬産業のこれからのかわり方を学べました。貴重な機会をありがとうございました。(理学系 学生)
- 全体的な概論がわかりやすくまとまっており、大変役立つ内容でした。(附属病院 医師)
- とても勉強になりました。特にPMの講義は普段の未来医療の講義でもきけないのでとても良かったです。(医学系 学生)